

パイロットになりたい 空のまちに生まれた誇りと将来像

千歳航空少年団

だもん なせ
大門 七瀬 さん
かみりく
紙屋 陸 さん



右：大門さん／日の出小学校6年生
左：紙屋さん／泉沢小学校6年生

7月16日に行われた千歳航空少年団創立30周年記念式典にて、団員代表として誓いの言葉を述べる。岸田真知子団長は2人について「勇気があり、自分の考えを相手にしっかりと伝えられるのが強み」と将来に期待を寄せる。

——千歳航空少年団の活動で一番の思い出。

【大門さん】5年生のときに参加したサマーキャンプです。千歳空港の旧管制塔に登ったり、消防車両を見学したり、さまざまな経験ができましたし、友達もたくさんできました。

【紙屋さん】パラセールを使った飛行体験です。晴れていたのが苦小牧の方まで見えたのと同時に、それだけ高く飛んでいるんだと実感しました。

——将来の夢。

【大門さん】航空自衛隊に入隊して女性のF15パイロットになりたいです。F15は旅客機よりもスピードが出ますし、繊細な機能が多くあってデザインも格好いいと思います。航空少年団に入ってから、その思いがより強くなりました。

【紙屋さん】航空自衛隊のF15パイロットになるか、米国籍を取得してアメリカ空軍に入り、

F15やF22のパイロットになりたいです。自分の国を戦闘機で守りたいと思うからです。パイロットになるために心がけていること。

【大門さん】日々の勉強と、丈夫な身体を作ることです。それから、少しずつですが飛行機に関する勉強もしているので、大人になったときに役立てたいです。

【紙屋さん】勉強、遊び、何事にも全力で取り組むこと」を心がけています。千歳基地のパイロットからもらった言葉です。——空のまち千歳市に住んでいることについて。

記念式典で誓いの言葉を述べる2人



第5回

今月は、お花を通じて交流を続けている《フラワー交流都市》の富山県砺波市と高知県南国市を紹介いたします。

氷瀧まつり会場や道の駅でお花をもらったことはありませんか。これは千歳市とフラワー交流都市による、フラワー交流の一環として行われているものです。

砺波市は、富山県西部に位置するチューリップ栽培が盛んなまちです。千歳市とは昭和59年から38年間にわたり交流が続いています。毎年ゴールデンウィークには《となみチューリップフェア》が開催され、色とりどりのチューリップを見ようと、たくさんの方々が訪れます。

南国市は、高知県の県庁所在地である高知市の東隣に位置する高知空港のあるまちで、コスモス



土佐のまほろば祭り

やつつじが有名です。平成8年に《新千歳空港—高知空港間》に直行便が開設されたことを契機に交流が始まり、その便がなくなった今でも《心の直行便》として交流活動を続けています。南国市奈路小学校と支笏湖小学校では、隔年で児童の相互訪問交流を行っています。コロナ禍においては、《オンライン修学旅行》などで交流し、友情を深めています。

毎年8月上旬に開催される《土佐のまほろば祭り》は南国市の夏の一大イベントであり、ステージイベントや花火など、地元を中心に多くの人々が訪れます。



フラワー

交流都市について



となみチューリップフェア